



笑顔とやる気いっぱいの中 生徒自らが常に鍛え続ける七中

# 七中だより



第 1 号 中野区立第七中学校《学校だより》

平成29年4月 19 日

URL <http://homepage3.nifty.com/nk-7-j/>

TEL 03-3389-4171

## 新年度がスタートしました

校長 池田 俊一

4月7日、今年度76名の新入生を迎え、新しい第七中がスタートしました。当日は、花曇りの肌寒い日になってしまいましたが、9分咲きの正門の桜が迎えてくれました。

新入生の数が例年より少なく通常級は2クラスになりました。D組は、学級数維持です。総生徒数の減少は少しさびしい気がいたします。しかし、新入生の入学式での視線の強さは、例年に変わることなく、壇上で式辞を話す私に刺さるようでした。身動きすることなく、やる気に満ちたオーラがあふれる新入生を頼もしく感じた瞬間でした。「入学生言葉」を披露してくれた高山さんの言葉に「この三年間で英語を始め新しいことを沢山吸収し、人間的におおきくたくましく成長していきたい。」とありました。この気持ちをしっかりうけとめ学校は日々努めていく所存です。

それでは、入学式で伝えた二つのことを書きます。これは、在校生に対して、とっても望むことです。

まず、習慣を変えて新しくスタートしようということ、特に「早起き」を勧めました。朝のゆとりが、自分や周りの人たちに及ぼす「よさ」は、大きなものです。機嫌よく起きて、しっかり挨拶、ゆっくりご飯を食べて、自分のしたいことを少しやる。学校にも余裕をもって登校し、遅刻なんて全くない。「早く起きなさい。」と家の人から言われて、お互いにいらいらすることもない。小さな習慣

を変えることが中学校生活の3年間を変えていきます。

次に、集団の力を高め、みんなで成功しよう。ということです。学校は、多くの人がつとところと一緒に生活をしているところです。一番小さな単位はクラスと言えます。まずは、クラス全員が友達になり盛り上がり、みんなで成功するぞという気持ちをもって生活しましょう。そしてその気持ちを学年、学校へと広げていこうということです。

二つともに、当たり前のことです。でもなかなか大変な事。保護者や地域の皆様の声掛けや見守りが生徒の心の支えになっていきます。お力添えをお願いいたします。

最後に、今年が開校70周年に当たります。本校は昭和22年に開校し、その当時は、江古田小学校の仮校舎で4学級生徒165名のスタートでした。今年度在籍の生徒には70年の重みをしっかりと受け止め、次の時代を担っていくという心構えをもたせて一年間を過ごさせたいと思います。すでに校舎の屋上には「祝開校70周年」の文字が新たに掲げられています。また、式典・祝賀会が、11月18日(土)に決定しています。それらの成功にむけ現在、実行委員会が立ち上がり準備を進めているところです。今後、学校だよりや学校情報配信メール等でもお知らせいたします。素敵一年にさせていただきます。

今年度もよろしくお願ひいたします。

# 新入生を迎えました ～入学式～

4月7日(金)平成29年度入学式が行われました。新入生76名が元気に体育館に入場すると在校生・来賓・保護者・教職員が盛大な拍手で迎えました。

新入生は、初めての標準服。少し大きな服に身を包み胸に「入学おめでとう」の花をつけ、少し照れながら入学式に臨みました。

## 新入生代表の言葉

### 新入生代表

これまでの寒さがやわらぎ、植物や動物達が活動を始める春、私達新入生76名は第七中学校の門をくぐりました。

中学生になるとこれまでの算数が数学にかわったり、図工が美術、技術に分かれたり、小学校とはちがう事がたくさんあります。勉強が難しくなるのではないか、新しい友達や先輩方とうまくやっていけるのかどうか、など色々不安なことがある一方、仲間が増え友達の輪が広がったり、部活動が始まったりと、胸をはずませていることもあります。

私は小学生の時に代表委員会をやっていました。その時に第七中学校に来て、江原小学校・江古田小学校の五・六年生と第七中学校の生徒会の方達とで「SNSルール」について話し合いをもちました。その話し合いで色々な意見が出る中、生徒会の方達は意見をわかりやすくまとめてくださいました。私たちと2、3才しか年がちがわないのにすごいなあと感心しました。

中学校に入ると本格的な英語の授業があります。小学校のときも英語の授業がありました。私はあまり英語が得意ではありません。ですが私たち新入生が中学校を卒業する2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるので、来日する諸外国の方々と英語で会話ができるようになっていたいと思います。そのため、この3年間で英語はもちろん、国語や数学などの勉強や部活動、学校行事などを通して、自分の知識を増やし、見聞を広め、人間的にも大きくたくましく成長できるよう努力していきたいです。

最後に池田校長先生をはじめ、先生方、主事さん方、先輩方には教えていただくことがたくさんあると思いますが温かいご指導をよろしくお願いいたします。私たちも精一杯頑張ります。

## 在校生代表の言葉

### 在校生代表

日に日に暖かさが増し、春の訪れを感じる季節となりました。今日から中学生となり、新たな一步を踏み出す新入生の皆さん「ご入学おめでとうございます」。私たち在校生は、皆さんのご入学を心待ちにしていました。

新しく大きめの標準服に身を包んだ皆さんは、「中学校」という新しい世界への大きな期待と不安でいっぱいだと思います。

中学校には小学校にはない新しいことが沢山あります。勉強も難しくなり、定期考査も皆さんが思っている以上に大変です。委員会の仕事は小学校の時よりも一段と大変です。しかし、それを成し遂げた時の達成感や喜びは今まで経験してきたことがない程のおおきなものになるでしょう。

大きな行事に運動会と合唱コンクールがあります。運動会ではリレーの順番や練習方法などを全て自分たちで決めます。男子は組体操、女子はソーラン節を演技するのが七中の伝統です。互いにアドバイスしあい、本番で成功した時の達成感のほかの何事にも代えることができません。互いに励まし応援しあうことでクラスの絆も一層深まります。そして合唱コンクールでは実行委員や

パートリーダーが中心となり練習をします。放課後の練習では、歌声が校舎内に響きわたります。

私には皆さんに伝えたいことがあります。「初志貫徹」という言葉です。自分が最初にもった思いや意志、決意を最後までもち続け物事に一所懸命取り組むという意味です。「希望する進路に進みたい」「部活の練習をがんばり大会で上位に入りたい」などの思いを初志貫徹の言葉通り、三年間もち続けて欲しいです。

三年生になった今思うのですが、中学生活の時の流れは本当に早いです。だからこそ、皆さんには三年間をなんとなく過ごすのではなく、何かやりがいを見つけて欲しいと思っています。それは勉強でも部活動でも生徒会活動でもなんでもいいです。今日から皆さんも七中生です。私たち二・三年生は皆さんを応援します。一緒に有意義な中学校生活を送りましょう。皆さんの中学校生活が充実したものになるよう、心からお祈りして歓迎の言葉といたします。

## がんばる七中生を紹介します

私は東京都主催の「トップアスリート発掘・育成事業」に選ばれ活動しています。この事業は、マイナーな7つの競技からオリンピックや国際舞台で活躍できる東京都育ちのジュニア選手を発掘する事業です。栄養学を学んだり、プロのトレーナーの指導で体幹を鍛えたりしています。

その中でも私が一番刺激を受けたプログラムは、「海外交流」と「オリンピック選手との意見交換会」です。「海外交流」ではトップアスリートとタイに行き、タイの文化を学んだり、スポーツ交流をしました。将来、海外での試合を想像することのできる体験になりました。「オリンピック選手との意見交換会」ではレスリング選手の登坂選手や浜口選手、酒井監督から貴重な話をいただきました。「絶対に目標を達成するまであきらめない」などの強い言葉

は私の気持ちを奮い立たせてくれました。登坂選手や浜口選手は「人に支えてもらって今の自分がある」など感謝の言葉を沢山話していました。「人に感謝できる人こそ真のチャンピオンである」と思いました。

私は7つの競技の中からカヌーを選択しました。皆さん「カヌー」はどのような競技かご存知ですか。リオ・オリンピック・メダリストの羽根田選手のカナディアンスラロームをはじめ多くの種目があります。私の種目は水平な川でスピードを競うスプリントカヤックで、水かきが両方についたパドルで不安定なカヌーを用います。私は去年の夏に始めたばかりで、旧中川や多摩川で長い距離を漕ぐなどして練習しています。まだまだ知られていない競技なので少しでも多くの人に知ってもらえるように努力し貢献したいと思っています。

この「トップアスリート発掘・育成事業」に参加することで、沢山のひとと出会うことになり、世界への視野を広げることにつながりました。今後もこのプログラムで学んだことを生かしながら、競技の練習と学校生活を両立させていきたいです。

※中村さんは二年目のプログラムに選出され、練習を続けることになりました。一層の活躍を期待しています。応援しています。

## 学校からのお知らせ

学校情報配信システムの更新に伴い全てのご家庭で登録をお願いします。先日、配布しました個人IDと登録URLをご覧ください。ご登録をお願いします。

大規模災害が発生した際に、生徒を学校に留めおいて、予め登録されている方に引き渡し、下校を行うことにしています。

その際、学校情報配信システムやHPで情報発信を行うとともに、正門に表示を出してお知らせします。

毎月1日には、テストメールを配信します。不着等の確認をお願いします。